感染症情報　2月20日～26日

府下小児科194医療機関（堺市18）から

①感染性胃腸炎	1，109例（堺市	111例）
②溶連菌感染症	67例（堺市	5例）
③RSウイルス感染症	52例（堺市	3例）
④突発性発疹	32例（堺市	3例）
⑤咽頭結膜熱	18例（堺市	1例）

府下小児科297医療機関（堺市28）から

インフルエンザ	4，377例（堺市	384例）

報告数での順位である。前週比14．5％減の1，306件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比14％減、堺市で前週135例→今回111例であった。溶連菌感染症が府下で15％減、堺市で前週・今回とも5例であった。RSウイルス感染症が府下で30％増、堺市は前週1例→今回3例であった。咽頭結膜熱が府下では前週比22％減、堺市で前回2例→今回1例であった。

インフルエンザが府下で前週から33％減。堺市で前週から41％減であった。定点あたり大阪府が22．04→14．74、堺市が前週23．07→今回13．71であった。

指定感染症：

【大阪府の推移】（患者報告数：大阪府感染症情報センター、陽性率：大阪府）

報告数	2/6～2/12	＋13，592例、累計2，796，192例に、
	2/13～2/19	＋9，306例、累計2，805，498例に、
	2/20～2/26	＋5，836例、累計2，811，334例になっていた。
陽性率	2/8～2/14	141，285検査中、10，370件陽性、陽性率 7．3％、
	2/15～2/21	125，351検査中、 6，839件陽性、陽性率 5．5％、
	2/22～2/28	104，720検査中、 4，611件陽性、陽性率 4．4％

（12月21日に遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率＝医療機関での陽性者数/医療機関での検査数（同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありうる）に変更した）

【堺市の推移】（9月12日の週から堺市発表の陽性者数を使い、これまでの累計数を計算している）

陽性者数	2/6～2/12	＋1，332例、累計は227，294例であった。
	2/13～2/19	＋784例、累計は228，078例であった。
	2/20～2/26	＋513例、累計は228，591例であった。
陽性率	2/9～2/15	11，924検査中、1，080件陽性、陽性率9．1％、
	2/16～2/22	9，934検査中、 640件陽性、陽性率6．4％、
	2/23～3/1	8，512検査中、 435件陽性、陽性率5．1％

麻疹や風疹の報告はなかった。